

だいにぎ議会だより



待ちに待った 秋の収穫

- 平成20年度決算を認定…………… (2)
- 平成20年度一般会計歳入歳出決算図表…………… (3)
- 一般会計補正予算・行政報告概要…………… (4)
- 審議された議案…………… (5)
- 関係機関へ提出された意見書…………… (6)
- 一般質問 (9人が登壇し、町政を問う) …… (7)～ (15)
- 議運広報合同研修視察・12月定例会予定・人権擁護委員他…… (16)

No.
159
平成21年
10月16日

平成20年度 決算を認定

平成21年
第3回定例会

平成20年度一般会計の決算は、前年と比較して、歳入で約6億9千万円、歳出で約3億600万円の増となりましたが、依然として厳しい財政状況の下での執行となりました。

行財政改革の推進による歳出の削減に努めながら、国民文化祭（文芸祭・俳句大会）の開催、「読む・調べる」習慣の確立に向けた実践研究事業、学校給食費の負担軽減、袋田の滝新観瀑台建設事業、移動通信用鉄塔施設整備事業、（仮称）大子ふれあい交流センター建設事業、えのき台住宅建設事業、森林機能緊急回復整備事業、地域包括支援センターの運営のほか、交通通信体系の整備、産業の振興、福祉対策事業、教育の振興、生活環境の整備、消

平成20年度の執行状況

平成21年第3回定例会が、9月2日から10日までの9日間の会期で開かれました。

平成20年度一般会計及び特別会計等の歳入歳出決算の認定、さらに、平成21年度一般会計補正予算、条例の改正、人事案件などの議案を審議しました。

一般質問では9人の議員が登壇し町政に対しての質問、答弁が展開されました。



袋田の滝新観瀑台



国民文化祭



森林機能緊急回復整備事業



えのき台住宅

防施設の整備等に係る各種事業を推進し、『若者の住

むまちづくり』に努めました。

《平成20年度 特別・水道事業会計決算》

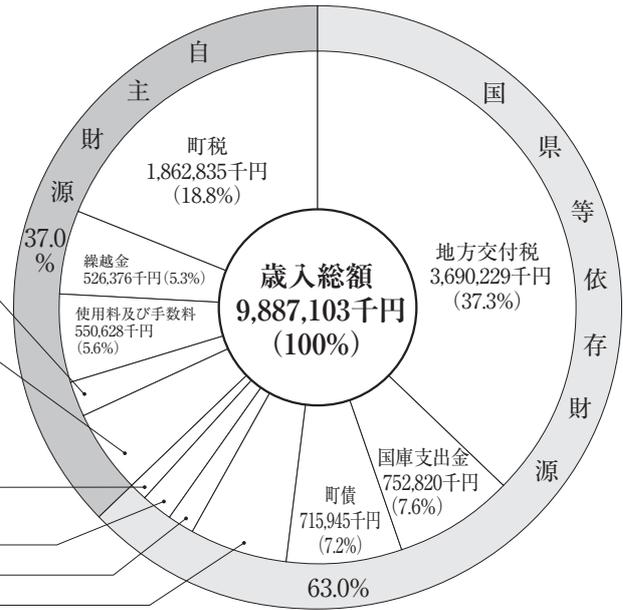
会計別		歳入決算額	歳出決算額
特別会計	国民健康保険事業	28億3,607万9,763円	26億3,188万466円
	老人保健	3億7,886万2,899円	2億8,015万1,641円
	後期高齢者医療	2億1,307万92円	2億916万7,801円
	介護保険	18億1,982万8,298円	17億1,444万9,891円
	介護サービス事業	599万4,837円	599万4,837円
	浄化槽整備事業	8,103万3,517円	7,584万5,947円
	下水道事業	1,593万1,285円	503万2,268円
水道事業会計	収益的収支	4億8,192万3,853円	4億3,711万2,705円
	資本的収支	2億7,646万5,400円	4億5,079万478円

※水道事業において、資本的収支が不足する額174,325,078円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額499,801円、減債積立金取崩55,942,633円、過年度分損益勘定留保資金117,882,644円で補てんした。

平成20年度 一般会計歳入歳出決算図表

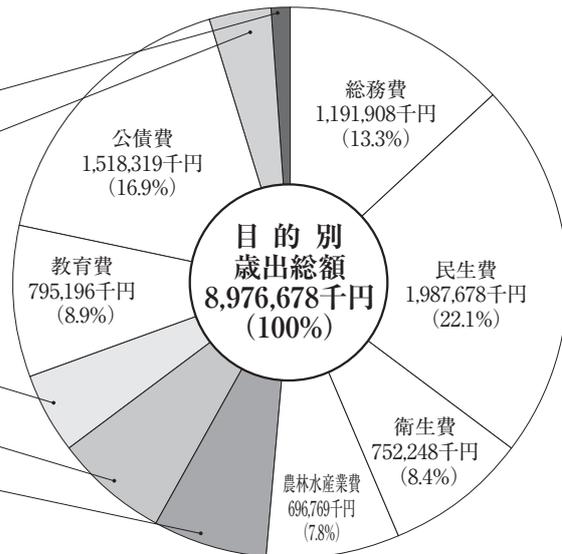
歳入

繰入金	214,810千円(2.2%)
分担金及び負担金	146,917千円(1.5%)
諸収入	225,679千円(2.3%)
財産収入	24,792千円(0.3%)
寄附金	103,259千円(1.1%)
自動車取得税交付金	74,607千円(0.8%)
利子割交付金	6,700千円(0.1%)
配当割交付金	2,320千円(0.0%)
株式等譲渡所得割交付金	1,054千円(0.0%)
地方特例交付金	16,051千円(0.2%)
ゴルフ場利用税交付金	12,700千円(0.1%)
交通安全対策特別交付金	2,955千円(0.0%)
地方譲与税	178,707千円(1.8%)
地方消費税交付金	180,441千円(1.8%)
県支出金	597,278千円(6.0%)



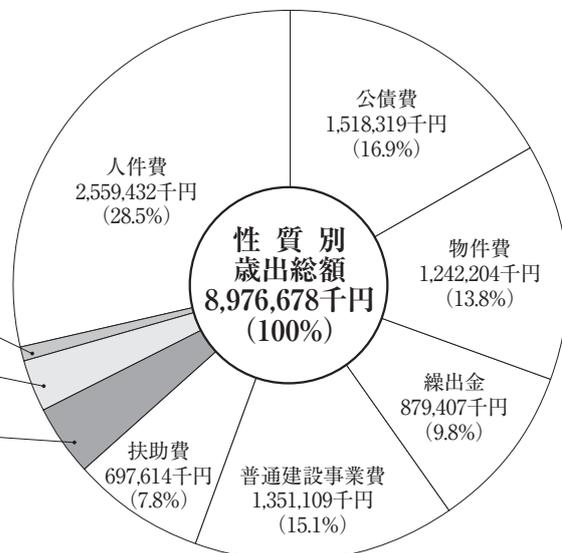
目的別歳出

議会費	97,072千円(1.1%)
諸支出金	302,409千円(3.4%)
消防費	442,850千円(4.9%)
土木費	604,500千円(6.7%)
商工費	587,729千円(6.5%)



性質別歳出

維持補修費	40,479千円(0.5%)
投資及び出資金、貸付金	20,288千円(0.2%)
積立金	282,318千円(3.1%)
補助費等	385,508千円(4.3%)



一般会計補正予算

3億8635万4千円の増額

平成21年度大子町一般会計補正予算（第3号）の主な歳入歳出は、表のとおりですが、補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ91億7373万9千円となりま

した。その他に、国民健康保険事業特別会計6993万5千円、後期高齢者医療特別会計30万6千円、介護保険特別会計3711万5千

円、浄化槽整備事業特別会計△49万6千円、水道事業会計資本的収入2199万9千円・資本的支出2300万円の補正がありました。

第3回定例会

行政報告

「東京理科大学大子研修センターの開所について」

3月から改修工事が進められておりましたが、7月27日に、開所式が行われました。

管理業務につきましては一括して大子町開発公社が受託することになりました。また、施設内での食事の提供につきましては、町の飲食店組合が行うことになりました。

利用状況は、8月8日からは毎日予約が入っており、今後、交流人口の増加による町の活性化や施設の利用等に係る経済的な波及効果などが期待されます。

「平成20年度健全化判断比率及び資金不足比率について」

地方公共団体の財政の健全化に関する法律により、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及

び将来負担比率の4つの比率からなる健全化判断比率並びに公営企業の資金不足比率を議会に報告し、公表いたします。

平成21年度からは健全化判断比率等のいずれかが一定の基準以上となった場合は、議会の議決を経て財政健全化計画等を策定し、外部監査を求めることなどが義務付けられました。別紙監査委員の意見を付けて報告いたします。

健全化判断比率ですが、実質赤字比率及び連結実質赤字比率は無く、実質公債費比率、将来負担比率、いずれにおいても健全であることが認められました。また、資金不足比率は無く、健全であることが認められました。

「平成20年度町税の収入状況について」

町税の収入総額は、18億6283万5千円で、昨年

度と比較しますと3625万円の増となりました。徴収率は、現年度分は96.2%、全体では79.3%で、過去の滞納繰越分の影響により依然低迷している状況です。

滞納額につきましては、平成20年度末で4億1210万4千円となっておりますが、現年度分は、7千万円台まで減少しました。

国民健康保険税につきましては、後期高齢者医療保険の新設に伴い、収入額が大幅に減少し、6億5716万4千円となり、徴収率につきましては、社会保険離脱者の国民健康保険加入件数増加などの影響により、71.2%となりました。

今後も、町の貴重な自主財源の確保と税負担の公平性を確保するため、積極的な滞納処分を前提に滞納整理を実施し、滞納額の縮減と徴収率の向上を図ります。

一般会計補正予算の主なもの

歳入	補正額
国庫支出金	2億5,913万5千円
県支出金	4,958万5千円
繰入金	1,800万9千円
繰越金	4,753万7千円

歳出	補正額
基礎年金拠出金公的負担率の改定による職員共済費	3,032万1千円
期末勤勉手当支給率改定による職員手当	△ 1,732万円
地域支援事業交付金対象経費変更に伴う介護保険特別会計繰出金	1,432万5千円
消費者活性化基金事業	455万7千円
子育て応援特別手当給付事業	1,347万6千円
女性特有のがん検診推進事業	294万2千円
ごみ処理基本計画等策定業務委託料	427万8千円
学校給食費補助金	3,316万2千円
地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業	2億4,420万6千円
地域活性化・公共投資臨時交付金事業	1,732万5千円
緊急雇用創設事業	1,232万円

第3回定例会 提出議案等と審議結果

議案番号	議案名	結果
報告第4号	継続費の精算報告について	報告済
報告第5号	損害賠償の額決定の専決処分報告について	報告済
議案第54号	損害賠償の額決定の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第55号	大子町国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第56号	大子町立小、中学校及び幼稚園設置条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第57号	大宮大子地方広域市町村圏協議会の廃止について	原案可決
議案第58号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案適任
議案第59号	平成21年度大子町一般会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第60号	平成21年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第61号	平成21年度大子町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第62号	平成21年度大子町介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第63号	平成21年度大子町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第64号	平成21年度大子町水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第65号	平成20年度大子町一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第66号	平成20年度大子町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第67号	平成20年度大子町老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第68号	平成20年度大子町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第69号	平成20年度大子町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第70号	平成20年度大子町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第71号	平成20年度大子町浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第72号	平成20年度大子町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第73号	平成20年度大子町水道事業会計決算の認定について	原案認定
議案第74号	大子町教育委員会委員定数条例	原案否決
議案第75号	（仮称）大子ふれあい交流センター建設工事変更請負契約の締結について	原案可決
常任委員会報告	介護型療養病床廃止中止を求める陳情書（陳情第5号）	採択
常任委員会報告	保険でより良い歯科医療の実現を求める陳情書（陳情第6号）	採択
常任委員会報告	気候保護法の制定を求める請願書（請願第1号）	継続審査
議員提出議案第2号	介護型療養病床廃止中止を求める意見書	原案可決
議員提出議案第3号	保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書	原案可決
議員提出議案第4号	産業廃棄物処理施設の建設に関する意見書	原案可決

条例改正等の

説明

大子町国民健康保険条例の一部を改正する条例

出産一時金を4万円引き上げる。（改正後42万円支給）

大子町立小、中学校及び幼稚園設置条例の一部を改正する条例

下野宮小学校を、平成22年3月31日をもって廃止し、同年4月1日に、だいが小学校に統合する。

大宮大子地方広域市町村圏協議会の廃止について

広域で取り組むべき事業がないため、協議会を廃止することについて常陸大宮市と協議するもの。



関係機関へ意見書を提出しました。

産業廃棄物処理施設の建設に関する意見書

本町は、素晴らしい景観、資源、環境を活かし「自然と共生する豊かな大子」を目指し、地域の創造、工夫に基づき、快適な生活環境の実現、地域経済の活性化、農林業と観光を主とした住みよい地域づくりに、力を合わせて取り組んでいるところであります。

近年、公害問題をはじめとする環境保全問題は、今や最も高い優先度をもって解決せねばならない課題です。公害対策の進展にもかかわらず公害現象はますます複雑度を加え、公害等の環境の破壊に対する関心が高まっています。

このような中、先頃、大子町西金地区の関東商工株式会社による産業廃棄物中間処理施設の設置が許可されました。又、今後大子町大字高柴地区へ生ごみを堆肥にする処理場を備えた産業廃棄物処理施設としての循環型農場の開設計画や、過去の大子町大字楨野地字釜の口地内への産廃計画などが表面化し、もしこれらが実現されれば人体及び動植物の生態系に影響を及ぼし、将来に禍根を残す危険な施設となるのではないかと危惧されます。これらは将来、大気汚染や水質汚濁（下流の市町村への被害等）、土壌汚染及び騒音に係る環境上の公害を及ぼす危険性をはらんでいます。

わたしたちは、地域住民をはじめ、河川の下流の人々を含めて、健康を保護し、生活環境をも保全され、安心して暮らせる快適な生活環境をつくるのが責務です。建設許可に対しては地域住民の声を十二分に聞き慎重に対処されるようお願いいたします。

ここに町議会の総意として、将来危惧される公害の危険性を深く認識し、建設についての許認可に際しては、地元の意見を反映することを強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

茨城県知事 橋本 昌 様

保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書

医療費の総枠を拡大し、患者負担を増加させることなく、保険で歯周病の治療・管理や、保険でより良く噛める入れ歯が提供されるとともに、新しい歯科治療技術を速やかに保険に適応し、保険でより良い歯科医療が実現されることを求める。

(抜粋)

内閣総理大臣 様
厚生労働大臣 様
財務大臣 様

介護型療養病床廃止中止を求める意見書

介護療養病床の転換先として、介護療養型老人保健施設などが示されているが、介護療養型老人保健施設は、夜間の医師や看護職員の配置が手薄になるなど現在の介護療養病床のように必要な医療を提供することは困難である。

地域住民が、いつでも、どこでも安心して必要な入院医療を受けられるようにするため、介護療養病床廃止計画を中止することを要望する。

(抜粋)

内閣総理大臣 様
厚生労働大臣 様

10年先の大子町のあるべき姿は

野内健一 議員



については、経済情勢、社会情勢が変わる中で3分の2達成ということでおおむね評価している。

総合計画とマニフェストの内容には、それ程違いがなく、特に意識せず、計画

新型インフルエンザへの十分な対応策は

問 新型インフルエンザの本格的な流行期を迎える

が、幼稚園、保育所、小・中学校での集団感染防止策は。

感染により重症化の恐れがある妊婦や呼吸器系疾患、慢性腎不全等の基礎疾患のある方々に対する予防策は。

高齢者において心配されるのは、インフルエンザが原因となって肺炎を併発することがある。この確率を少しでも下げるものとして、肺炎球菌ワクチンの接種が有効とのことだが、町

どおり実施してきた。

総合計画の達成度の公表は、第5次総合計画の主な施策に数値目標を設定し、進捗状況を公表する。

10年後の大子町は、「日本一の子育て福祉の町」、「日本一の教育の町」を目指し、子育て世代の若者が周辺地域から移り住んでく

る町を作っていきたい。

答 町長

学校等における集団感染防止策は、手洗いやうがい

を徹底することが最善である。

妊婦や呼吸器系疾患、慢性腎疾患等の方については、医療体制の問題もあるが、国の方針のもとに協力

をお願いして、水郡医師会との連絡も密にしている。高齢者向けの肺炎球菌ワクチンは、国の動向や医療機関の意見などを参考にしながら決めていきたい。

問 来年3月で終了する第4次大子町総合計画の評価が、公表された。目標が達成された事業は、全体の18.3%、7割〜8割の達成が47.7%であった。町長は、この結果をどう評価するか。また、町長は、この計画実施期間の後半に就任したが、どの程度まで意識し、施策に反映したのか。総合計画の達成度が最終年度だけ公表というのは、町民に対しての事業報告として不十分ではないか。来年度からスタートする第5次総合計画には、10年後の大子町の姿としてどのようなものが盛り込まれるのか。

答 町長

第4次総合計画の評価に

少子高齢化対策について

佐藤 正弘 議員



面の重要な施策ではないか。

答 町長

少子高齢化対策は、町の最重要課題である。第五次総合計画で実現可能な施策を積極的に進める。

問 「子育て支援日本一の町」をめざしプロジェクトチームを発足させ、その一環として、小・中学生の給食費無料化を打ち出したことは歓迎するが、総選挙、知事選挙でも各政党、候補者が福祉や医療の充実を掲げ選挙に臨んだ。中学校卒業までの医療費無料化は当

中学校卒業までの医療費の無料化は、本町において子育て支援を充実させる重要な施策の一環である。母親との意見交換でも、医療費の助成、給食費の助成が非常に強かった。給食費に続いて、医療費の支援についても、県の動向をふまえて検討する。

教育環境等について

問 教育委員を1名増員する条例について、現在の情勢、関係法律など趣旨からしても必要性はないのではないか。

また、町長が打ち出した「教育日本一の町」とは、教育の質、内容、施設、補助教員の数等様々な充実策

が考えられるが、町長の目指す「教育日本一の町」とはどんな町なのか。

答 町長

改正された法律の趣旨、背景に加え、大子町においては、少子化に伴う学校再編の問題、小・中連携の強化など多くの課題もあり、

産業廃棄物の

中間処理施設について

日本一の教育の町づくりを目指すその第一歩として教育委員を1名増員したい。「教育日本一の町」とは、

子育て中の親が子どもの教育のために住みたくなくなるような町である。

問 大子町は、袋田の滝等

自然環境に恵まれ、多くの



秋の小中学校合同体育祭

観光客が四季を通じて訪れている。このような中で、産業廃棄物の持ち込み、処理施設の建設は住民の意思として認めないとしてきたのではないか。

今回の設置、稼動は、町民、議会にも知らせていない。町長が公約として掲げている行政情報の積極的な開示にも反するのではないか。

答 町長

町は、法律に基づき業務を執行する立場にあり、全て適切に対処している。

町民や議会に知らせてないというのが、企業が平成17年8月に町へ説明をし、県へ事業計画概要書を提出した。その時点で当然説明があったと認識していた。行政情報については、できる限り開示するのが原則であり、今後とも開かれた行政に努める。

その他の質問

○雇用関係について

大子町の教育は

鈴木陸郎 議員



問 大子町の教育について伺いたい。

①教育委員会はどのような活動をしているのか。また、教育委員長と教育長の役割はどのようなになっているか。
②日本の教育のまちづくりのプランは、どのようなものか。

答 町長

日本の教育のまちづくりのプランは、子育て中の親が子供の教育のために住みたくなるような町づくりを進める。考える力を養い、創造力、表現力を高める教育環境の整備を図る。教育委員会を充実し、学校再編、小・中学校の連携に取り組んでいきたい。

答 教育長

教育委員会は、町長から

独立した機関で、教育に関

少子化高齢者対策を

問 少子化対策として給食費の無料化を提案しているが、バラマキとまらないよう実施すべきである。

敬老祝金事業対象者数4083人に対して1000円(商品券)はあまりにも少額ではないか。対策を要望する。

答 町長

子育て支援のひとつとして、子育て支援プロジェクトチームが行なった懇談会

農林業の振興を

問 ①直売所を利用した農業の振興策として有機栽培、無農薬栽培等を生産指導し奥久慈農産品のブランド化を図ってはどうか。
②和牛の飼育者、生産頭数の減少対策として休耕地等を利用して自給飼料を作付

する業務を執行管理する。教育委員長は、教育委員会を代表し会議を主催する。教育長は、教育委員会に属する事務を統括し、所属職員を指揮監督する。

での意見、要望があり若者の定住化、少子化、過疎化対策として重要な施策と考える。

高齢者対策は、子、孫と一緒に住める環境、社会が良いと考える。生活が困難で経済的支援が必要な高齢者に対しては、セーフティーネットである高齢者保護制度の活用により対処したい。

けすれば飼料のコスト削減、耕作放棄地対策にもなるがどのように考えるか。
③奥久慈茶は、ブランド品として関東近県では有名になっているが、低コストでの生産が求められている。対策を県へ要望願いたい。

答 町長

①エコ栽培や減農薬といった農産物が一般的となっている。県の基準に基づくエコファーマー等の認証取得を推進している。

②飼料用米の栽培は、自家飼料としての利用、耕作放棄地の活用としても有効であるので推奨していく。
③奥久慈茶の成分分析によ



奥久慈茶の茶摘風景

りカテキン等が非常に多く含まれている結果が出ている。この結果を踏まえ積極的にPRして地域ブランドの地位を高めていきたい。

その他の質問

○町政の方向は(町長の政治姿勢について)

新環境センターの町民負担は

仲野 廣 議員



問 環境センターは、現在の敷地内へ、規模を若干縮小して建設し、最終処分場については、「エコフロンティアかさま」への外部委託が最適との報告が検討委員会から具体的にあつた。

建設時の人口は1万8千人台、15年後は1万3千人台と予測している。建設時の町民一人当たりの負担予想額と、15年後の負担予想額の推移はどのようなになるか。人口減少は町民への負担増となるのか。

答 町長

1年間に約3億4000万円程度かかると見込んでおり、現在でも3億円程度かかっている。建設予定の平成27年度人口を1万8500人として、排出量を想

定すると5300tくらいのゴミ量で1t当たり6万9000円ぐらいの処理費になる。町民1人当たりか

かるゴミ処理費は現在より高くなる。施設のランニングコストは変わらないので

学校給食費の

全員全額無料化の功罪は

問 小・中学校の学校給食費を今年の10月から全員無

料化する提案があつた。子育て支援策として財源確保が可能で、子育て中の町民の経済負担軽減が目的のことだが、今まで実施していた学校給食費軽減制度の評価はどうか。また、親が子を食べさせていく教育的効果をどう判断している

人口の減少によって1人当たりの負担額は当然増える。

か。6千万円の子育て支援支出は就労確保への支出よりも優先順位は高いのか。

答 町長

学校給食費軽減制度は、効果がでている。子どもは親の宝だけでなく地域の宝であり、子育て支援を地域社会全体で支援していくことが大切で、優先順位からいえば非常に高いものである。給食費無料化は私が担当している限り止めることは全く考えてない。

町長の産業廃棄物処理施設の設置基準は

問 大子町に産業廃棄物中間処理施設が初めて設置となった。設置にいたる経過及び今後の監視報告体制と他の施設に対する影響は。

答 町長 町民生活に影響がある場合、厳格に対応する。必要に応じ県と共同した監視体制を進めていく。また、排水の水質検査も毎年行っている。環境保全には万全を期していきたい。

その他の質問

○農業問題について

企業が平成17年8月に町へ説明をし、県へ事業計画概要書を提出した。その後、私が町長になって、平成19年12月に意見を求められ、環境や土地利用に問題がないということと事務的に進



建て替えが予定される環境センター

給食費の無料化について

大森 勝 夫 議員



問 給食費を無料化にすることで、親が果たすべき子育ての責任感が薄れてしまう危惧は無いのか。食を通じて感謝の心を育み、親子の絆を培う意味でも、親が

給食費の一部を負担しても良いのではないか。

校舎の耐震化工事や、老朽化したゴミ処分場建設など、将来、財政負担になる事業が控えている事をふまえて、無料化にこだわることなく、財源確保の考えもくみ入れるべきではないか。また、無料化を実施する期間の設定がないが、期間を定めたほうが継続が見直し



町を支える大人になってほしい

食費無料化は教材費を支援する目的なので、親の子育て責任意識についての問題は心配はないと考えている。町の財政状況も改善され、柔軟

かの判断ができてよいのではないか。

答 町長

大子町の少子化の現状を見た場合、非常な危機感を持つている。子育ては親だけに任せるのではなく、地域社会も親と一緒に子育てを育てる姿勢が重要と思っている。子育て中の親は、経済的に苦しい方が非常に多い。教材費を例に挙げれば、小学2年生で毎月5300円、中学2年で毎月1万3千円の負担となる。そうした面を支援していくことが重要である。給

に使える資金が5億円近く増えている。今後の財政見通しも、職員の定年退職者により、4年後には4億円の人件費削減が見込めるなど、財源的に問題はなく、

産業廃棄物施設

完成までの経過について

問 町民が知らない間に産業廃棄物中間処理施設が完成してしまった。経過報告さえなかったのはなぜか。また、同様な条件が揃えば、今後も産業廃棄物施設の建設が可能になってしまった様に感じるが、どう考えるか。

佐原地区住民が平成20年1月に産廃反対の要望書を町へ提出した要望の趣旨が手続きに反映されなかったと思われるが、どう考えるか。

答 町長

許可になった産業廃棄物中間処理施設は、環境や周辺住民に影響が無いということで、町では事務処理を進めた。法的、環境面、周辺住民などに問題がないのに、ただ産業廃棄物処理施

10月からの実施とした。無料化の実施期間についても、私が町政を執行する限りは無料化を取りやめることはない。

設だからといって、むやみに反対することはできない。また、事前説明をしなかったことと非公開とは、意味が違う。非公開とは、聞かれても説明をしない秘密主義のことであり、もし今回の件で問い合わせがあったならば、幾らでも説明をしたはずである。また、同時期に提出された、佐原地区での産業廃棄物反対の要望書との整合性についても、法に従った町政を進めているので、法律遵守というかたちで対応していると考えている。

その他の質問

○(仮称)大子ふれあい交流センターの設計変更について

子育て支援日本一の町を目指して

藤田 稔 議員



ないか。

答 町長

問 「子育て支援日本一の町」を目指して、新たな子育て支援策を立案する「子育て支援プロジェクトチーム」が設置されたが、現在までの取り組み状況は、雇用問題の悪化に伴い生活不安定者が増えている。父子家庭へも母子家庭と同様な支援策を考えられないか。さらに、大子町立小学校遠距離通学費補助金交付規則の見直しは考えられ

子育て中の保護者から要望や意見を聞く機会を設けた。これと並行してプロジェクトチームの会議を開催し、施策の実施に要する経費の試算を行い新たな町独自の支援策などを検討している。

父子家庭は母子家庭に比べ支援策が極めて少ないので国や県の動向を見ながら検討課題として取り組んで行きたい。

答 教育長

遠距離通学補助金は、補助対象条件を是正する方向で検討したい。

町の特徴を活かした観光の振興策は

観光の振興策は

問 大子町には袋田の滝をはじめ多くの観光資源がある。その資源を活かして観光振興に取り組んでいるが、

を使ったプロモーションの現況は。

①特産食材「奥久慈しゃも」

②撮影誘致、撮影協力をして、町の知名度アップ等を図る目的に設立された大子

町フィルム・コミッションの現況は。

③町内の史跡、観光施設等を案内する人材育成事業として、観光ボランティアガイド養成講座が始まったが活動拠点を含めた方向性は。

答 町長

①奥久慈しゃもの取り扱い店を紹介したパンフレットとのれんを作成配付した。また、都内ホテルにおいてマスコミ向けの試食会や「奥久慈しゃもフェア」を開催するなどして、特産品食材の知名度アップと誘客に努めている。

②20年7月に設立されテレビCM・ドラマなど映像制作の支援活動を行ない地域振興に努めている。

③受講生は25名である。講座は12月まで延べ9回を予定し、22年4月にスタートする。運営等は大子町観光協会が行なう予定。

男女出合いの場の創出を

問 いばらき出合いサポートセンター会員の会費を町が助成しているが、加入状況は。また、当町においてのふれあいパーティー開催計画

は。

答 町長

昨年度から累計で、5件の助成をした。10月4日に大子広域公園グリンヴェイラ



新築された観瀑施設管理事務所

その他の質問

○東京理科大研修施設について

○袋田の滝観瀑施設について

大子町の自然環境を守るには

齋藤 忠一 議員



長は町民の安心、安全な生活を守るためにも毅然たる態度で対処すべきと思うが。

答 町長

問 大子町の素晴らしさは自然環境の美しさ、そしてこの環境の中で生活する安心感ではないかと思う。それが突然、産業廃棄物中間処理施設が持ち上がった。町民・議会にも報告が無かったのは、どういうことか。

今後、産業廃棄物処理施設等の話があった場合、町

町民が理解する

子育て支援を

問 町長は、子育て支援日本一を掲げ様々な支援策を立ち上げており、今回、学校給食費無料化を提案した。この問題は、いろいろな影響もある。町長は様々な政策を企画、立案し、それを議会に提案し承認をも

企業から町へ説明があった時点で議会などに説明があったと思い込んでしまったのと、環境や住民への影響がなく小規模施設のため事務的に進めた。産業廃棄物処理施設建設等については環境や住民への影響等を厳密に検討する。当然住民、議員へ説明する。

らうとされておるが、なぜ議論する余地が無かったのか。

答 町長

議会と町執行部の関係は町の基本方向とか、総合計画については、議会の意見も反映できるように、審議



子供達へ夢を託して (学校給食センター)

会へ議員の参加を求めているし、事前に議会に説明もしているが、個々具体的な事業は町長が決定し、議会

が審議して承認をするようになっていた。今後、月に一度議員と協議会を持つので、説明・議論ができる。

耕作放棄地へ

観光面で支援策はないか

問 現在、耕作放棄地が大

変増えており、この先さら

に増えていくと思われる。大子町には、毎年多くの観光客が訪れるが、この荒れ放題の耕地を見たとき、どのように感ずるか。

町は観光事業に力を入れ、多くの予算を組んでいる。観光収入の一部で基金を作り、沿道の整備をすべきではないか。

答 町長

現在町では、耕作放棄地対策として、農地、水、環境保全事業や、中山間地域等直接支払い事業を実施しているが、観光収入による、耕作放棄地の整備は、実施方法によっては、可能だと思われる。道路に面した耕作放棄地は、観光的にも景観が悪いので、積極的に検討していきたい。

その他の質問

- 教育委員の定数増について
- 新型インフルエンザの対策について
- 窓口業務について

雇用対策はどう進んでいるか

藤田友晴 議員



問 国内の完全失業率は、過去最悪の5・7%。有効求人倍率も最低を更新している。

多くの方々が失業で大変な思いをしている。早急な対策をすべきである。

6月議会での答弁で、「森林湖沼環境税による間伐により大きな雇用効果が見込める」とあった。また、各種対策が出されたが、その後どのように進んでいるのか。

答 町長

職業安定所の労働相談を町内で月2回実施している。県の就職支援巡回相談も毎週できる体制となる。国のふるさと雇用再生事業並びに緊急雇用対策事業を実施している。さらに道路

施設環境整備事業等により雇用の拡大に努めている。森林湖沼環境税による間伐等の事業により雇用され



若者が夢と希望を持って

る予想人数は1ha当たり15人、年間400ha整備する

若者の住むまちづくりとは

ので延べ人数は6000人と予想している。

問 若い世代の流出や景気の低迷に伴う厳しい経済状況のなかで、学校給食費の無料化は子育て世代にとつ

ては「ありがたい」という多くの声があるが、町財政面や今後の対応について危惧される声もある。町財政の負担軽減のため、米どころ大子の地産地消の観点からも、主食を持参する等「主食費」の部分で工夫できないか。

子育て支援住宅の整備や

お年寄りが

安心して住める町を

問 老人福祉法第2条でも「老人は多年にわたり社会進展に寄与、豊富な知識と経験を有し、敬愛されるとともに健全で安らかな生活を保障される」とある。「緊急通報装置」と「AED」の設置状況は。

答 町長

ひとり暮らしの65歳以上の高齢者数は812人。緊急通報装置は82台、愛のブザーは20台が設置されている。さらに安心、安全の確

町営住宅使用料軽減とあるが、持ち家の方々にも支援すべきではないか。

答 町長

大子町は年間90人台しか子供が生まれてない。子育てできる環境を作ることが必要だ。子育て世代の一番要求しているのは経済的支援である。

財政面は、財政状況の改善に努め、行政改革の推進により確保できる。持ち家の方への施策は難しい。

保に努めたい。若い人が一緒に住めるということも高齢者対策である。大子町に帰ってきたくなる施策をしたい。AEDの設置箇所については地図を作成し配布する。

その他の質問

○産業廃棄物中間処理施設について

○農業・林業について

産業廃棄物処理施設等について

吉成好信 議員



業廃棄物処理業者としての許可取得を今年度中に目指す計画があることを新聞記事で初めて知った。

①議会全員協議会において関東商工株が行う産業廃棄物中間処理施設について、町が意見書を提出してからの報告があったが、資料には住宅の基礎や橋等を壊したときのコンクリート

廃材受け入れますとあり、鉄道用砕石とコンクリート片を受け入れて砕くだけの施設ではないようである。

町は、いつ、誰が、何処で説明を聞いたのか。

町長は議員への説明があったと言っているが、聞いていないのは事実である。地元や下流の市町村との話し合いが実施されなかったのはなぜか。

②大字高柴地内に、生ゴミを堆肥にする処理場を備えた循環型農場を開設し、産

業廃棄物処理業者としての許可取得を今年度中に目指す計画があることを新聞記事で初めて知った。

5月1日に町へ説明にきているが、議会、町民へ説明がない。袋田の滝の上流であり汚水、汚濁の問題がある。町としてどう対処するのか。

③今年8月、大字榎野地釜ノ口に「温泉と果樹園」の観光施設を造る構想による、観光道路建設計画が浮上した。今後の対応について地元で町執行部を交えて会議が開催されたがその内容は、産業廃棄物処理施設建設反対運動がある所であり、水道取水口の上流でもある。慎重に対応すべきと考えるが、町の考えは。

答 町長

①中間処理施設について、意見書提出以前になぜ説明しなかったのかとか、私が聞いていたはずだと言ったということだが、私の前任



産業廃棄物中間処理施設

者の時に、聞いていたと思いい込んでいたと言っているわけで、その辺は誤解のないように。

下流の市町村への説明や、意見を聞いて意見書を出すべきであるというけれど、これは大字町がやることでなく必要ならば県がやることだ。

ることだ。

②生ゴミ処理施設開設が新聞に掲載され、事前に説明が無かったということだが、5月1日に久慈ピックファームという養豚場の社長から、生瀬の畜産団地で豚を600頭ほど飼っていて、そこでスーパードなどの売れ

残りの食材を豚の餌として食べさせたいという話があったが、その時には産業廃棄物の話は一切なかった。久慈ピックファームの社長は、新聞に掲載されていることが決定したわけではないと言っている。

現在、町へは具体的な話は来ていない。

③新ホールディングス社の社長から8月4日に温泉を利用した観光農園を造りたいので、進入道路である林道を拡幅をしたい旨の話があったが、林道を観光道路、産業廃棄物運搬道路として使用することは、林業経営上危険だし、橋も4t車制限である。拡幅の同意、許可は出せる状況ではないことを説明した。

温泉施設・観光農園については、構想段階であり、正式申請書があった場合は公表する。

その他の質問

○奥久慈観光の顔大子駅売店閉鎖について

○小中学校給食費無料化報道について

議会運営委員 広報委員 合同研修視察

10月1日～2日に議会運営委員会と広報委員会合同による研修視察を行いました。

1日目は、東京都瑞穂町で、議会運営と議会広報紙の編集について、研修しました。

議会広報紙の編集に当たっては、町民の関心の高いものを町民の立場に立って、読みやすく親しみやすいよう編集されています。

議会運営では、一般質問で一答方式を採用し議論を深めています。予算・決算は特別委員会で開催していただき、各委員活動も充



瑞穂町庁舎前にて

実しています。

2日目は、茨城県つくば市で、宇宙航空開発の現状と、豊かで安全な食生活について研修しました。

これからの議会活動に大変有意義な研修となりました。

(金澤真人)

第4回定例会会期日程（予定）

月 日	曜 日	会 議	付 記
12月2日	水	本会議	開会、議案の概要説明等
12月3日	木	休 会	自宅審議
12月4日	金	休 会	自宅審議
12月5日	土	休 会	自宅審議
12月6日	日	休 会	自宅審議
12月7日	月	本会議	一般質問
12月8日	火	本会議	一般質問
12月9日	水	本会議	逐条審議
12月10日	木	本会議	逐条審議、閉会

※日程等についての詳しいお問い合わせは、議会事務局までお願いします。(☎72-1115)

議会を傍聴してみませんか？

定例会・臨時会は、誰でも傍聴することができます。議会傍聴は町政を知るよい機会です。

お気軽にお出かけください。

手続きは役場3階の傍聴席で受付簿に住所、氏名を記入するだけです。



傍聴する町民

人権擁護委員に 神長 守氏 を推薦



人権擁護委員の白井貞夫氏が、平成21年12月31日で任期満了となり退任するため、後任として神長 守氏を法務大臣に推薦することにしました。

任期は3年です。

大子町議会 広報委員会

委員長 佐川利夫
副委員長 藤田友晴
委員 大森勝夫
委員 齋藤忠一
委員 佐藤正弘
委員 鈴木陸郎
委員 藤田健
委員 藤田英明

あとがき

「友愛」を辞書で引いてみた。兄弟、友人間の愛情、よしみとありました。

8月末の総選挙によって誕生した鳩山政権、いよいよスタートしました。

高度成長時代から低成長期に入った今日、さまざまな格差が生じた社会、特に少子高齢化、地方と都市の格差など山積する諸問題に対して、政治家（地方も含めて）が新内閣の掲げる「友愛の精神」を持って政治にあたれば、必ず心豊かで安心して暮らせる社会になると確信いたします。

すみずみまで光が当たり温かな政治に期待をしてあとがきいたします。

(広報委員 鈴木陸郎)

今回の表紙

大子は、日本一おいしいコシヒカリのふる里です。今年も丹精こめて作りました。

(齋藤忠一議員 撮影)